

ウクライナ：即時停戦が必要 — ロシア軍の相次ぐ攻撃による市民への影響

2025/07/15

国連人権高等弁務官事務所

国連人権高等弁務官事務所 Liz Throssell 報道官は、ウクライナ情勢に関して次のように述べた。「私たちの最新情報によると、ウクライナでは、ロシア連邦によるミサイルやドローンによる激しい攻撃が続き、今月に入ってから少なくとも 139 人の民間人が殺され、791 人が負傷したという。先月（6月）には、過去 3 年間で月間の民間人の死傷者数が最も多く、232 人が死亡、1,343 人が負傷した。居住地への度重なる攻撃が民間人に与える身体的、精神的影響は計り知れず、数字だけでは明らかにできない。人びとは、地下室、廊下、地下鉄駅などの避難所で何時間も過ごさなくてはならない。子ども、高齢者、障がいのある人びとは特に長期的なストレスや不眠に脆弱であり、避難所にたどり着くことができないことがある。居住地で爆発性兵器を使用した攻撃は、無差別に影響を与える可能性が高く、国際人道法の遵守に関して深刻な懸念を抱かせる。フォルカー・トゥルク国連人権高等弁務官は、この耐え難い苦しみを終わらせるために、即時停戦が必要であると繰り返し述べている。私たちは、ウクライナに拘束されたロシア人捕虜への聞き取り調査を続け、非公式な場所での拘束や、拘束の初期段階における拷問・虐待を記録している。ウクライナ当局がこうした申し立てに関して調査を開始したことに留意し、国際基準に従って調査を迅速に進めるよう要請する」。

【記事全文】

[Ukraine: Impact on civilians of wave of Russian attacks underscores need for immediate ceasefire](#)